

研究課題番号	3J-2001
研究課題名	廃棄物処理システムの強靱化に貢献する固化式処分システムの社会実装研究
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	九州大学
研究代表者名	島岡 隆行

## 1. 委員の指摘及び提言概要

着実に研究が進展しているものと判断する。設計に基づく LCC 評価を今後実施予定であると理解している。従来型処分場の建設コストや維持管理に対して、固化式処分場の建設コストや維持管理の容易さ、コンパクト化による効果、40 mm以上の焼却残渣の取り扱い、跡地利用の価値など、LCC 評価期間（寿命）など評価の前提、跡地利用のシナリオ、コストの評価範囲をどのように設定するかを明確にされることが望ましい。「都市型処分場」のコンセプトは今の社会、これからの社会にマッチしており、実装が期待できる。法制度も併せて整備することが必要と考えている。実証試験、実用の段階に必要なモニタリングの項目を含めて、モニタリングについて考え方を示すことが望まれる。対象物が焼却灰とのことであるが、対象物に多様性が出たときにどう対応するのがポイントである。ならびに市民との対話が重要な分野なので以後対応をお願いしたい。

## 2. 採点結果

評価ランク：A